

Edulution

令和5年度千葉県教育庁教育振興部
学習指導課ICT教育推進室発行
GIGAスクール通信 vol.02 (R5.4.27)

教育 (Education) × 進化 (Evolution) の造語
「ICT」を効果的に活用することで、
教育の次なるステップを目指しましょう。

Let's make the most of ICT

～ICTを活用して「子供」「教員」「学校」の“意欲”を最大限に引き出す～



県教育委員会では、学校における「学習指導」「生徒指導」「校務分掌」等においてICTを最大限に活用した取組を推進するとともに、「令和の『千葉型』学校教育」の構築を目指し「子供」「教員」「学校」のそれぞれがICTの恩恵を受け、“学ぶ意欲”“指導する意欲”“働く意欲”を引き出すために「**Let's make the most of ICT (ICTを最大限に活用しよう)**」を合言葉に、学校教育の充実を図ります。取組の概要を紹介します。

ちばの新しい学び推進プロジェクトの概要



ちばの新しい学び推進プロジェクト (ICTを活用した学び方・教え方・働き方の改革)

千葉県教育庁
教育振興部
学習指導課
ICT教育推進室

・ 全ての子供たちの可能性を引き出すツールとして、教育のICT化を強力に推進

- ・ 県立学校における1人1台端末の整備 (BYOD*を含む) や学校の高速通信環境 (Wi-Fi) を整備
*BYOD (Bring Your Own Device) …生徒が所有する端末を学習に活用する利用形態
- ・ 知識及び技能の習得のみならず、思考、判断、表現や学習状況の共有、学びの振り返り等に活用
- ・ 地理的制約や時間的制約等を超えた質の高い、児童生徒の多様な能力・適性に応じた教育を実現

・ ちばっ子「学力向上」総合プランの達成に向け、新たな指導方法を確立・展開

子供たちの学ぶ意欲の向上 学び方改革

協働的な学び
→他者と協働し新たな価値を創造
→遠隔授業による海外との協働
個別最適化された学び
→学ぶことが楽しい面白いと思えるよう学習方法や教材選択を工夫
→家庭学習教材の充実・活用促進
探究的な学び
→児童生徒が自ら目標を発見し、理解(設定)し、達成する能力を育む



子供たちの可能性を最大限に引き出す 教え方改革

データを活用した授業改善
→主体的に学ぶ態度や基礎基本の定着など個別最適化を図る
校内の指導データの共有
→データを基に児童生徒個々の実態や課題を客観的に捉え、全職員で共有・評価し管理・活用
教育データの連携による義務教育から大学までの円滑な接続
→学習履歴の蓄積・分析・利活用

子供に向き合う時間を確保 働き方改革

校務の効率化のためICTの積極的な活用を推進
外部人材を活用し、教員の負担を軽減

「学び方改革」「教え方改革」「働き方改革」の目標値

学び方改革

教え方改革

働き方改革

ちばの新しい学び推進プロジェクト

ICTを最大限に活用した子供・教員・学校の姿

【目標】
日常的にICT機器を活用して学びの質を高めている子供の割合を100%

- ・ 児童生徒が、ICTを新たな学びのツールとして日常的に活用するとともに、自由な発想で適切に活用できるようにする。
- ・ 児童生徒が、発達段階等に応じた情報活用能力を身に付けている。



【目標】
子供の学びについてICTを活用して改善することができる教員の割合を100%

- ・ 教員が、ICTはこれからの学校教育を支える基本的なツールとして必要不可欠なことを理解し、授業や校務、教育相談、いじめ・不登校の対応、特別支援教育等、様々な場面でICTの利活用に努めている。
- ・ 教員が、自身の情報活用能力、データリテラシーの向上を図っている。



【目標】
校務を分析・整理し、ICT活用も含めた教員の働き方改革を推進している学校の割合を100%

- ・ 校務の効率化のため、ICTの積極的な活用を推進している。
- ・ 学習指導に係る業務(授業、授業準備、課題作成、採点等)へのICTの積極的な活用を推進している。

